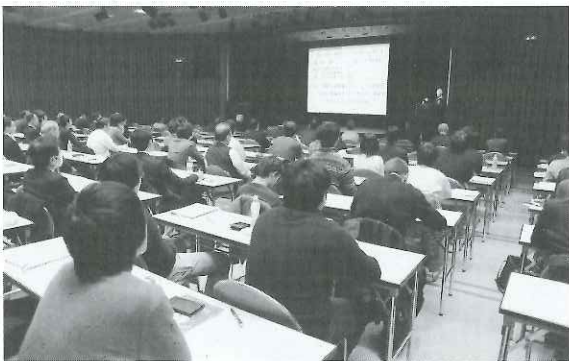


■技術者として今後どう考えて進むべきかを問う／大阪で「セメントの底力」セミナー開催

セメント協会は12月3日、大阪市北区の毎日新聞オーバルホールで、『「セメントの底力」セミナー／大阪』を開催した。このセミナーは昨年度の東京・福岡、10月の札幌会場での開催に続くもので京都大学・大阪大学・神戸大学・大阪市立大学など関西圏の大学生・大学院生や国の機関・市町村などから若手技術者を中心に聴講者が集まった。

講演は、①私たちの暮らしにセメント・コンクリートができること／時政 宏(セメント協会常務理事)、②造りこなし、使いこなす－設計・照査・診断・予測・予断－／宮川豊章(京都大学大学院・教授)、③初めて学ぶ『国土学』－その成立から将来に向けて－／大石久和(国土技術研究センター・国土政策研究所長)の3氏により行われた。

①では、セメントの製造工程の解説から、下水汚泥や都市ごみ焼却灰などの各種廃棄物が、セメント原材料の一部に近い組成を持つことから置き換えが可能になり活用が進んでいること、燃料としても利用されること、また二次廃棄物を排出しないこと、などを図解で示し、その結果最終処分場の延命に貢献していることなどを紹介。また社会資本整備で活用されているセメント・コンクリートを地元の事例も含め多数示した。②では、これまで大量に造られた土木構造物を“造りこなす”視点から紹介し、また、さまざまなコンクリートの劣化事例と最新の各種技術を示したうえで『診断+予測・予断⇒補修・補強』の道筋を導き出し、それら構造物を今後“使



宮川氏



大石氏



時政氏

いこなす”技術が重要になることを会場に多く集まった次代を担う若い技術者らに語りかけた。③では、昨今の政治家や経済学者、マスコミらによる社会資本整備についての論点がフロー効果に偏り、バランスを欠いている現状を危惧、諸外国の状況を解説しながらあらためてストック効果に目を向けるべきと指摘した。さらに環状道路や高速道路の整備により工業団地や物流設備の新規立地が誘導され、地域を超えた国全体の経済発展に貢献している事例を挙げ、適切な国土整備を進めることが大切でありそれを正しく伝えることの重要性を訴えた。

なお、会場に集まった参加者からは、「聞き応えがあった」「これまで知らなかった話で刺激的だった」などの感想が集まった。

■第47回セメント系固化材セミナー(広島)を開催

12月3日、セメント協会は広島市中区のJAビル講堂にて、第47回セメント系固化材セミナーを開催した。本セミナーでは、一昨年度に改訂を行った「セ



メント系固化材による地盤改良マニュアル第4版」をテキストとして、最近の固化処理について講演が行われた。

講演は、嘉門雅史氏(京都大学 名誉教授、環境地盤工学研究所 理事長)より「総論—セメント系固化材の地盤改良への多様な展開—」、清田正人(セメント協会セメント系固化材技術専門委員会 委員長)より「地盤改良の原理と改良土の特性」、吉村雅宏氏(高速道路総合技術研究所 総括研究主幹)より「浅層改良」、北誥昌樹氏(東京工業大学大学院 教授)より「深層改良」、大島昭彦氏(大阪市立大学大学院 教授)より「建築基礎地盤の改良」、勝見武氏(京都大学大学院 教授)より「環境と固化処理」について講演の後、近藤秀貴(セメント協会研究所 所長)より、東日本大震災におけるセメント系固化材を用いた地盤改良に関する調査結果について報告があった。

なお、2015年3月10日には北海道札幌市で同様のセミナー開催を予定している。詳細は本号あと付ビラ、セメント協会ホームページ(<http://www.jcassoc.or.jp/>)もしくはセメント協会普及部門(☎03-5200-5060)まで。

■報道関係者向け工場見学会を開催

12月11日、セメント協会は、一般紙・業界紙記者向けの工場見学会を三菱マテリアル(株)横瀬工場(埼玉県秩父郡横瀬町)にて開催した。



工場見学の様子

セメント協会では2003年より、業界への理解を深めていただくことを目的に、報道関係者向けの工場見学会を毎年1回開催しており、今回が12回目。

今回は、循環型社会の構築に貢献するセメント産業についての理解を促す目的で、「なぜセメント産業は廃棄物・副産物を有効活用できるのか」に焦点をあてており、13社13名が参加した。

見学会ではまず、橋本光一工場長より、セメント産業および横瀬工場の概要、産業廃棄物・副産物の活用関連の説明が行われた。続いて、同社セメント研究所の鳴瀬浩康所長より、研究所の概要説明を受けた後、廃棄物・副産物処理関連設備(廃タイヤ、下水汚泥の受入れ設備、廃プラスチックの破碎設備等)、品質管理設備、キルン、中央操作室等を見学。また、2014年8月に同工場内で施工した1 DAY PAVEの現場も併せて見学した。

編集委員の交替

本誌の編集企画にご尽力いただいた、飯田達郎氏(電気化学工業(株)青海工場セメント・特混研究部)は12月号をもって退任されました。ここに氏のご協力・ご支援に対し感謝の意を表します。

なお、後任には上村 豊氏(電気化学工業(株)インフラ・無機材料部門セメント部)が就任されました。

[編集部]